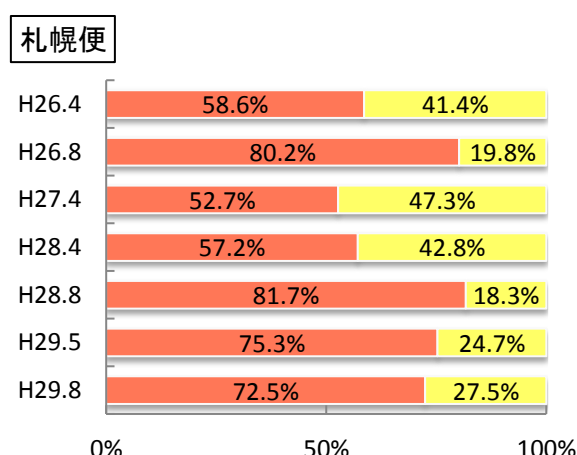
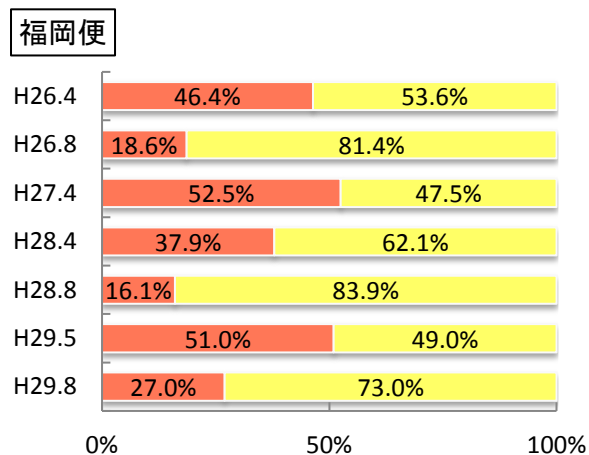
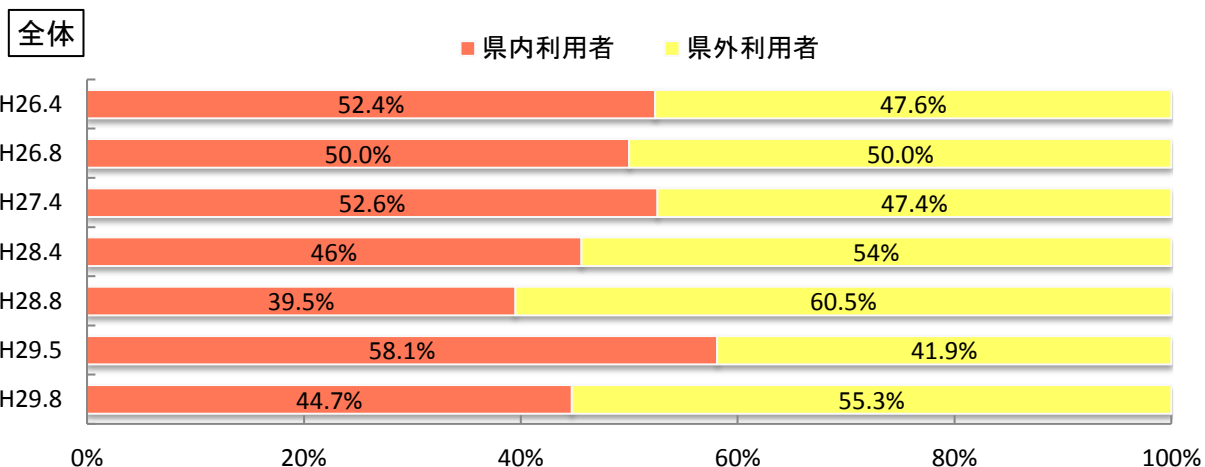


平成29年度 第2回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (札幌便・福岡便) (平成29年8月24日～30日) における利用者の動向

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 実施期間 | 平成29年8月24日(木)～30日(水) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 札幌便 356票 福岡便 556票 合計 912票 |

【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が44.7%、県外利用者の割合が55.3%となった。
 路線別では、福岡便は、県内利用者の割合が27.0%、県外利用者の割合が73.0%となっており、過去の8月の調査同様、県外利用者の割合が高くなっている。
 一方、札幌便では、県内利用者の割合が72.5%、県外利用者の割合が27.5%となっており、過去の調査と同様に県内利用者の割合が高くなっている。

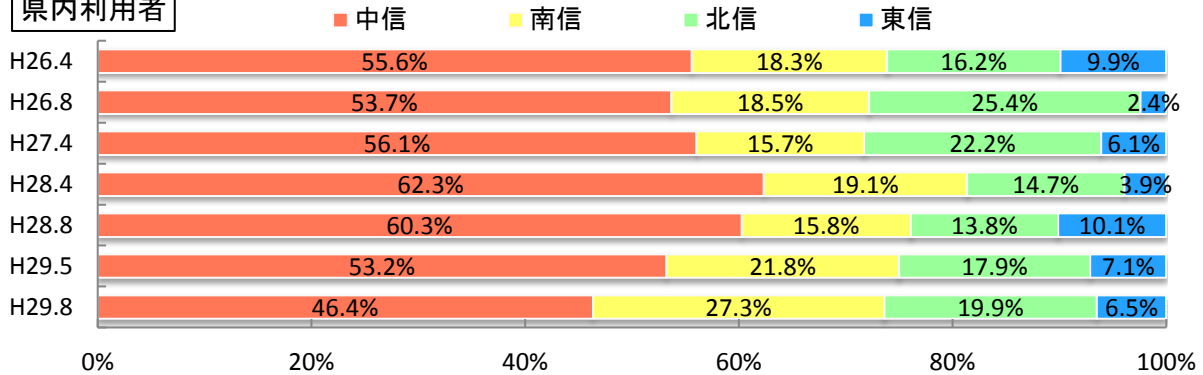


【利用者の居住地】

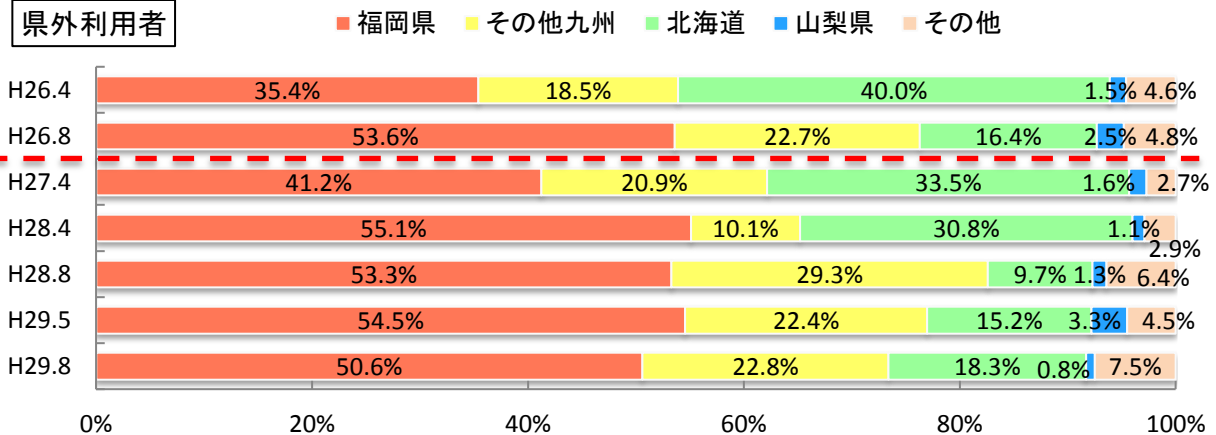
居住地別に見ると、県内利用者では中信が半数を割り込んだ一方で、南信が、昨年8月の調査と比較し11.5ポイント増の27.3%、北信も6.1ポイント増の19.9%と増加したが、東信の利用者は3.6ポイント減少した。

県外利用者では、福岡県を含めた九州地区からの利用者が合計73.4%と高い傾向を示している。なお、山梨県からの利用者は0.8%と少ない状況。

県内利用者



県外利用者

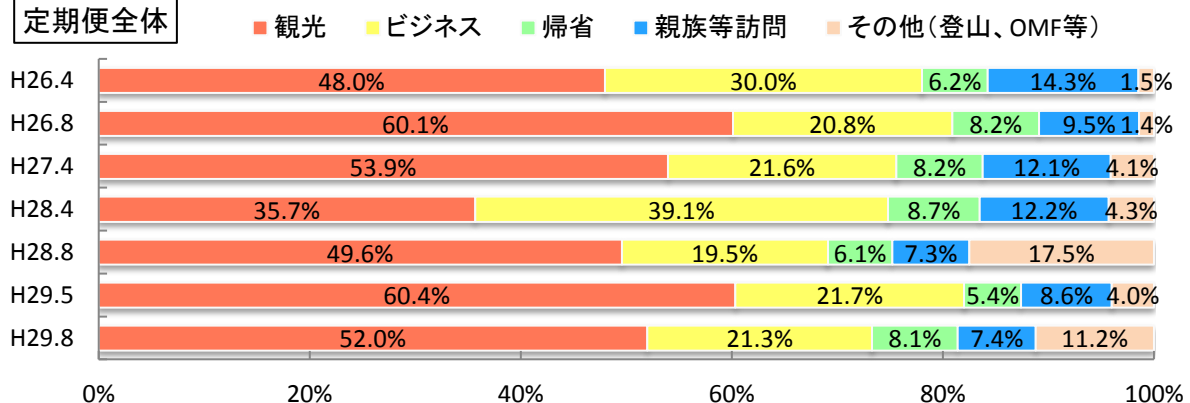


【旅行目的】

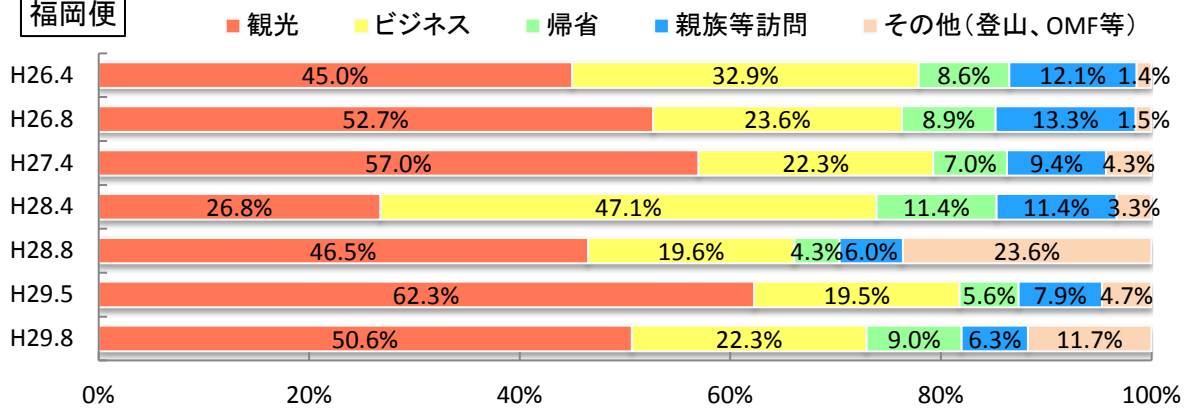
旅行目的については、定期便全体で観光が52.0%となっており、これまでの調査同様半数を占めている。路線別に見ても、福岡便・札幌便ともに観光が半数以上を占めている。

一方、ビジネスは21.3%で、これまでの調査同様、平均で2割～3割の一定程度のビジネス需要があることがわかる。

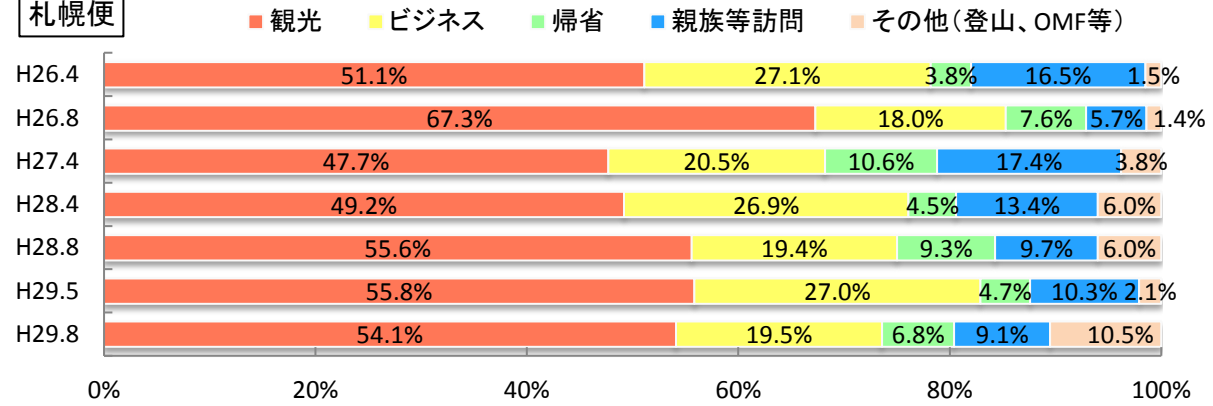
定期便全体



福岡便



札幌便



【参考:その他調査項目】

